

人道的援助



コッラム地区から来た子供たち



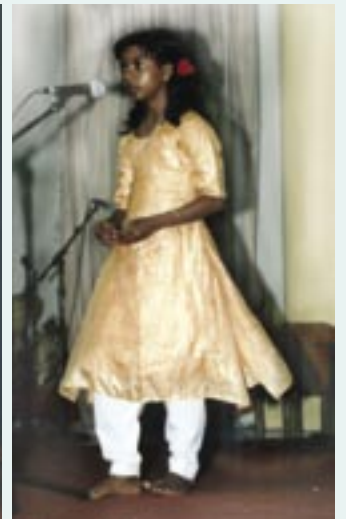
アーラブプツラから来た子供たち



毎日、アンマは子供たち全員をそばに呼んで、彼らの心配ごとについて話し合いました。子供たちはアンマといっしょでとても幸せでした。たくさんの子供たちがアンマに自分の才能を見てほしいと一生懸命に、歌や劇その他の文化的な出し物を演じてみせました。



右)演技やダンスをするアーラブプツラの子供たち
右下)楽器を演奏し歌うコッラムの子供たち





津波による水への恐怖を克服させるため、アンマは子供たちをアシュラムのプールへ連れていきました。

アシュラムは、ケララ州のコッラム地区やアーラプッラ地区などの被災地から来た子供たちのために英会話、ヨーガ、サンスクリット語などの特別訓練コースを開催しました。10,000人を超える少年少女が2005年4月25日－29日、5月22日－24日に開かれた訓練コースに参加しました。

コース開催時には、約5,000人の子供がアシュラムに滞在しました。訓練コースの期間中、アンマは毎日愛情たっぷりに、訊きたいことを訊いてごらんさい、と子供たちを促しました。そして、アンマの生き方やスピリチュアリティについて子供たちが示す無邪気な好奇心に、愉快そうに応えていきました。その楽しいやりとりの中では、ユーモアと知恵がひとつに溶け合っていました。くる日もくる日も、子供たちは一人残らず、アンマのダルシヤンを受け、気遣いと愛情を受け取りました。津波のあと、ひどく水を恐れるようになった子供が多かったので、アンマは恐怖を克服させようと、子供たちを自らプールに連れて行きました。なかでも、今まで水への恐怖が非常に強く、一度も水遊びをしたことがない女の子たちは、この機会のおかげで楽しい水泳のレッスンを受けることができました。

また、子供たちは文化的催しで自分の才能を見せる機会も与えられました。訓練コースの終わりには、ひとりひとりにケララ州政府教育長官E.T.モハメッド・バシール氏から修了証が授与されました。長官は、子供たちがまっすぐにアンマの翼の下に入ることができた、と喜びの言葉を述べました。

コースが終わりに近づくにつれ、たくさんの子供たちが帰るのがいやになり、その後も子供たちは、アンマと離れてしまった淋しさを表現していました。子供たちは今まで文化的な教育を受けたことがありませんでした。そこへアンマはアンマならではの愛を彼らに注ぎ、彼らに新しい人生——インドの豊かな遺産である深遠な見識に根ざした——への展望を開きました。

ケララ州政府教育長官E.T.モハメッド・バシール氏(左)、海外でも評価の高い俳優ネドゥムディ・ヴェニユ氏(右)から修了証を受け取る子供たち。

子供たちはみなアンマからの贈り物を受け取りました。

